

陸軍省 陸文密第百四三九〇號

平田部隊 本部 參密第七八號

待命間ニ於テ教育成果ノ件報告

昭和十四年四月三十日

第三十七師團長 平田健吉

陸軍大臣 板垣征四郎殿

師團待命間四月下旬ニ至ル首題ノ件別冊  
ノ通報告ス



1960

極秘

自昭和十四年三月二十六日  
至昭和十四年四月二十六日

第三十七師團待命間教育成果

昭和十四年四月三十日  
第三十七師團司令部

## 第三十七師團待命間教育成果ノ概要

師團ハ編成完結後出動迄一月餘、待命期間ニ  
惠マレシヲ以テ此間團下各隊只管重責ニ對ス  
ル自覺ト熱烈ナル意氣トヲ以テ聖戰ノ意義、  
皇軍タルノ意識、透徹ヲ期シ且銳意團結、強  
化、掌握、訓練ニ精進シ今日一先ヅ既報三七  
師教第一號「教育ニ關スル指示」ノ程度ヲ概成

シ得タルモノト認ム

然レドモ師團任務ノ要望程度ハ尚遙ニ大ナルモノアルガ故ニ出勤後ニ於テモ各種困難ナル環境ヲ排シ訓練ノ精到ヲ期シアリ

四月下旬ニ於ケル各隊訓練成果ノ概況左ノ如シ

### 第一 精神教育

各隊共極メテ順調ニ訓育ノ實績擧リツツアルモ

戦地ニ於ケル環境ニ想到スレバ今後全般のニ益々  
 深刻ニ精神教育ヲ實施シ軍紀風紀ヲ緊肅  
 スルノ必要アリ

## 第二 其他ノ教育

### 其一 歩兵隊

#### 一 幹部教育

一 中隊長級ノ典範令ノ原則ノ理解運用未

十分ナラス一階上級ノ職務ハ勿論現  
職ノ遂行ニテ細部ノ指導ヲ要スルモノアリ

口 支那事變ニ依ル教訓ノ普及徹底十分ナラ  
ズ現地實敵ニ對スル戰鬥法ハ今後大イニ尚

上ヲ要ス

ハ部下ノ指揮掌握ハ編成當初ニ比スレバ著シ  
ク向上セルモ右(ハ)事情竝ニ部下兵ノ戰

場試練ヲ經ザルトニ依リ未ダ向上鍊磨ノ餘  
地多シ

二 兵ノ教育

一 射撃教育ハ小銃輕重機關銃ニ於テ初年

兵ニ在リテモ概ネ近距離射撃ノ自信ヲ得ルニ

至レルモ狙撃、應用射撃ハ尚向上ノ要アリ

擲彈筒射撃ハ尚未熟ナルモノ尠カラズ

三

大隊砲 聯隊砲射撃モ尚向上ノ餘地多シ

口 劍術

初年兵ニ於テハ試合ノ教習ヲ實施シ得ル程度

ニシテ白兵ノ自信ヲ得シムル為ニハ今後尚鍊

磨ヲ要ス

ハ土工作業ハ尚不十分ナリ

ニ陣中勤務ハ未ダ實戰的ナラザルモノアリ



行軍能力ハ連日約三十料ノ能力程度ナルモ地  
 隙多キ不良地形ニテノ跋涉能力ハ現地ニ於  
 テ更ニ演練ノ要アリ

### 三部隊ノ教育

一、小銃小隊、機關銃、聯隊砲小隊、大隊砲分隊教

練ハ畧完成ス

二、小銃中隊、中隊教練、機關銃中隊、大隊砲小

四

隊、聯隊砲中隊教練ハ概不完成セルモ小銃中隊  
 ト重火器部隊トノ協同ハ未タ十分ナラス  
 歩砲工ノ協同ハ部隊ヲ以テスル演練ノ機會ヲ  
 得ズ

ハ夜間ノ戰鬥動作ハ演練ヲ重ネテ地形困難  
 ナル生地ニ於ケル能力ハ未タ疑ハシ  
 ニ化學子戦ニ就テハ未ダ慣熟ノ域ニ達セズ

ホ通信隊、畧任務ヲ遂行シ得ル程度ニ在リ

其二 搜索聯隊

一 幹部教育

典範令ヲ識得、應用指揮能力概ニ良好ナ

ルモ新任者中不十分ノモノアリ

二 一般教育

イ、乘馬教練、徵發馬、調教不十分ナルモノアル爲小

五

隊教練出來得ル程度ナリ

口 徒歩教練ハ概ネ所期ノ成果ヲ收メアルモ初年兵  
補充兵ニ於テ輕機ト小銃手トノ連繫十分ナラザ  
ルモノアリ

ハ 乘車教練ハ不齊地ノ行動ニ概ネ慣レ戰車  
分隊教練ハ平易ナル地形ニ於テ概ネ分隊  
長ノ意圖ノ如ク運行シ得

乗車中隊、特業及工務兵ノ能力ハ不十分ナリ

ニ陣中勤務ハ基礎的事項ヲ會得セルモ初年

兵補充兵ノ搜索勤務ハ未ダ十分ナラス

ホ、射撃ハ小銃、機關銃射撃概シテ可ナリ但シ

第三中隊ハ未ダ装甲車用機關銃裝備セラ

レザル爲其教育ヲ實施シ得ズ

ハ、劍術ハ一般ニ伎倆良好ナルモ第三中隊ハ良好

六

ナラズ

三 特業教育

無線通信

既教育十三名、技倆良好、編成後、修業者七

名、簡單ナル送受信可能ノ程度ニ在リ

、只有線通信

大部編成後、修業者ニシテ技倆未ダ十分ナキ

ハ瓦斯

簡單ナル瓦斯使用瓦斯氣象ノ觀測發煙  
ヲ為シ得ル程度トス

其三 野砲隊

一 幹部教育

イ 各大隊長ノ能力ハ概不良好ナリ

ロ 中隊長及中隊附將校ノ射撃指揮技能ハ著

七

シテ向上セルモ各種困難ナル目標戦況ニ應ズル  
指揮ハ錬磨ノ餘地多シ

ハ准士官及曹長ノ伎倆ハ概ネ可ナルモ軍曹就中  
伍長ノ能力一般ニ不十分ニシテ大隊本部機關  
及中隊機關トシテノ伎倆モ向上ノ餘地少カラス

ニ幹部一般ノ指揮掌握ハ概シテ可ナリ

ニ一般教育



イ、運動性ハ内地ニ於ケル困難ナル地形ニ於テハ概ネ整齊ナル運動ヲ爲シ得ル程度ニ人馬ノ訓練ヲ向上セシメ持久力ハ尚不十分ナリ

ロ、分隊教練ハ概ネ可ナルモ分隊長ノ動作十分ナラザルモノアリ

ハ、中隊教練ハ概ネ中隊長ノ意圖ノ如ク動作シ得ル程度ニ達セルモ指揮小隊及附屬機關ノ動作

ハ

ハ尚向上ノ餘地アリ

ニ大隊教練ハ簡單ナル狀況、下ニ展開搜索目  
標授受等ヲ畧円滑ニ實施シ得ル程度トス

ホ觀測中隊第二期所定ノ中隊教練ハ尚不十分ナ

ルヲ測地ハ概テ順調ナル進歩ニ在リ

ヘ陣中勤務及自衛戦闘ハ一通ノ動作ヲ為シ得

ト戦地ノ必要ヲ顧慮シ將校以下若干名ニ對シ四

一式小砲編成要員トシテ一通ノ教育ヲ實施セリ

三、特業教育

各種特業ハ何レモ概テ實用ニ供シ得ル程度ニ

達セリ

其四 兵兵隊

一、幹部教育

將校ノ戰術能力ハ未ダ不十分ナルモ安貞兵指揮

ル

技能ハ概シテ所期ノ目的ヲ達セリ

下士官、下級者ニ於テ伎倆不十分ノモノ尠カラズ

尚増加茲ニ新器材ノ取扱ニ關シ將校四名下士

官四名ヲ一週間工兵學校ニ分遣シ歸隊後之ヲ普

及教育セリ

## 二、一般教育

師團教育指示ノ程度ヲ概成セルニ左記ノ點ニ於テ

不備アリ

不執銃教練及作業基礎教練

口棹ニ依ル漕舟

其五 輜重隊

一 幹部教育

指揮掌握ノ技能ハ逐次向上セルモ自衛戦闘ノ

指揮ハ尚向上ノ餘地多シ

十

二 一般教育

一般教育ハ概シテ所期ノ程度ニ進捗セリ

射撃ハ第三習會迄劍術ハ初年兵ニ於テモ試合

ヲ實施シ得ル程度ニ達セルモ敬言戒及自衛戦闘

動作ノ自信ヲ得シムル為ニ尚鍊磨ノ餘地尠シ

トセス

三 特業教育

各種特業者、教育ハ概不良好ニシテ其定員ニ  
對スル不足人員、短期補充教育ニ概不實  
用程度ニ到レリ

其六 師團通信隊

一 通信小隊教練

小隊長ノ指揮ヲ掌握ハ概不可ナルモ尚戰術能力  
及之ニ關聯シテ戰況ニ應ズル通信網ノ構成

有線、無線、連繫の確立、指揮掌握等尚

上ヲ要ス

下士官以下、能力ハ概シテ可ナリ

二、既往（編成完結前）教育、補備ニ就テ、特ニ暗號

畧號、瓦斯防護及通信分隊教練ヲ實施シ概シ

所期ノ目的ヲ達セリ

三、其他



作業對空連絡ハ各一通ヲ教育ニ瓦斯電機工ノ  
 特業ハ基礎教育ヲ工務兵教育ハ應急修理能  
 力ノ程度ニ教育セリ

待命間ノ教育ニ關シ將來ニ關スル希望

當師團ノ待命間ノ教育ニ關シテハ上司ノ懇切な指  
 導ト配慮茲ニ留守部隊ノ深甚ナル好意ニ依リ教育  
 ノ目的ヲ遂行シ得シハ感謝ニ堪ヘズ左ニ二三將來ニ

關スル希望ヲ附加セントス

一、比較的長期ニ亘リ猛訓練ヲ實施スル場合ニ於  
テハ演習用被服ノ交付、人馬ノ給養是額ノ増  
額等ニ關シ配慮セラレ度

留守部隊ノ營々苦心セル委任經理ニ屬スルモノハ情ニ  
於テ之ガ要求ハ忍ビ難キモノアリ

二、短期間壓縮教育スベキ事項ヲ效果的ナラシムル爲

9860

演習用彈藥其他資材ノ交付ニ關シ配慮アリ度

十三